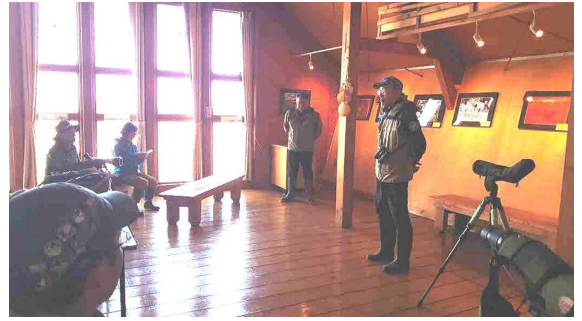


アカアシシギ観察会

と き 令和7年5月18日(日)
午前9時30分～12時30分
と ころ 野付半島
講 師 NPO 法人野付・エコ・ネットワーク
代表 藤井薫 氏
参加者数 8名



ネイチャーセンターで講師よりレクチャーを受けました。この時期の野付半島は、ロシアやアラスカに渡るシギ・チドリの中継点として重要な場所であり、繁殖のため6月の第1週までに到着しなければならないため、餌を食べ体力をつけています。人が近くにいっても気にせず餌を食べている場所は少なく、野付半島の特徴とのことです。また、1972年に初めてアカアシシギの繁殖が確認され、現在に至り、国内では、野付半島だけとのことです。



レクチャーの後、車にて移動しました。アカアシシギは、見る事が出来ませんでした。シロチドリ、トウネン、ハマシギ、キョウジョシギ、キアシシギ、アオアシシギ、コアシシギ、ムナグロ、ダイゼンといったシギ・チドリをまじかで見ることができました。

参加者の感想

- ・様々なシギチを見れて良かったです。自分では分からない識別などもできたので定期開催してほしい。キラクの歴史の話も面白かったので、こちらもまた期待です。
- ・アカアシシギは見られませんでした。どこらへんで見られるかが何となくわかったので、次は自分で探しに行きたいと思います。色々な種類のシギが見られたのと、歴史関係のお話が聞けて楽しかったです。
- ・天候もよく、本当にさわやかな1日を過ごせました。野鳥、風景、歴史を学びながらのんびりとゆっくりペースでの観察が良かったと思います。
- ・アカアシシギは見られず残念でしたが、ムナグロの夏羽やシロチドリなども観察できて良かったです。ハマシギもかわいかったです、無事に渡れますように。

